



労働市場情報 2021年10月

株式会社 ノーザンライツ

目次

- ・ 一般職業紹介状況（2021年10月 全体）
- ・ 地域別 有効求人倍率
- ・ 雇用形態別 新規求人数・新規求職者数
- ・ 産業別・事業所規模別 新規求人数
- ・ 職業別 有効求人倍率
- ・ 労働力調査（2021年10月）
- ・ TOPICS 求職者動向

一般職業紹介状況（2021年10月 全体）

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

		季節調整値 新規求人倍率	有効求人倍率	就職率 (対新規)	充足率 (対新規)	新規求人数	新規求職申込 件数	有効求人数	有効求職者数	就職件数
		倍	倍	%	%	人	件	人	人	件
2021年 (令和3年)	10月	2.08	1.15	26.1	12.5	802,818	385,088	2,247,353	1,949,127	100,406
	前月比	▲ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.90	▲ 0.30	2913	4966	10263	12296	▲ 2182
	前年同月比	0.24	0.11	▲ 1.00	▲ 2.20	92376	▲ 193	192214	▲ 23280	▲ 4006
	前々年12月比	▲ 0.41	▲ 0.40	▲ 4.70	0.10	▲ 171405	▲ 6595	▲ 397921	241354	▲ 20250

2019年12月

⇒日本で新型コロナウイルス感染が確認される前

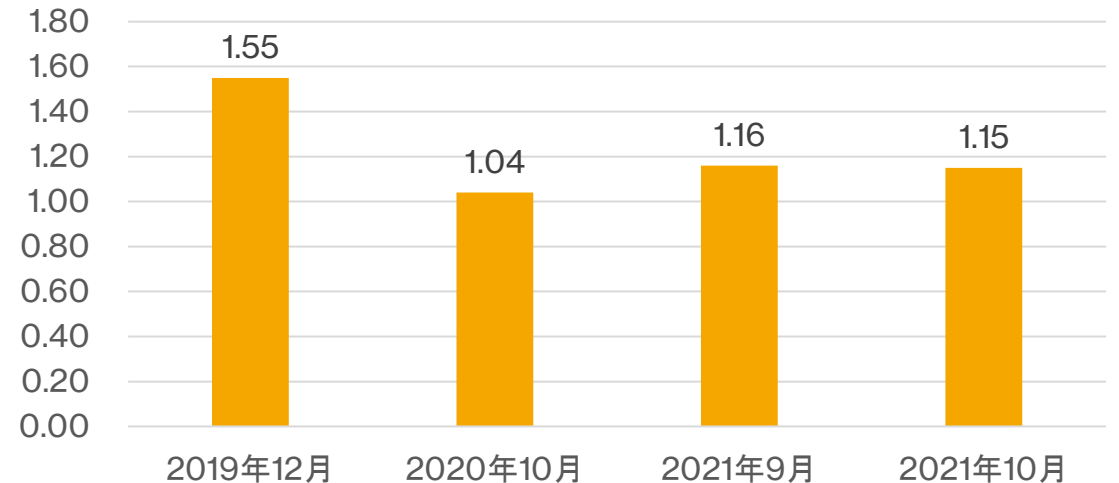
2020年10月（前年同月）

⇒東京大阪・北海道沖縄など一部で感染者数増加

緊急事態宣言解除により、求職者が一気に動き出す
しかし就職率・充足率の減少に課題感あり

求人数以上に求職者数が増加し、有効求人倍率が少し低下。
ハローワークでの就職マッチング効果はこの時点では薄い。

有効求人倍率

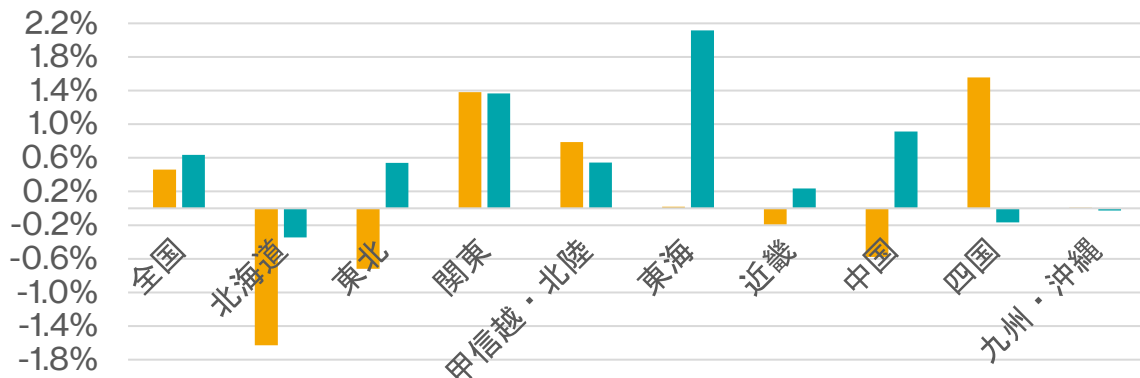


地域別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

パートタイムを含む 一般（季節調整値）		全国計	北海道	東北	関東	甲信越 北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
2021年（令和3年）	10月	1.15	1.00	1.30	1.05	1.43	1.25	1.06	1.37	1.25	1.13
	前月比	▲ 0.01	▲ 0.01	▲ 0.02	0.00	0.00	▲ 0.03	▲ 0.00	▲ 0.02	0.02	0.00
	前年同月比	0.11	0.04	0.20	0.05	0.29	0.24	0.04	0.11	0.11	0.13
	前年3月対比	▲ 0.25	▲ 0.11	0.01	▲ 0.36	▲ 0.00	▲ 0.15	▲ 0.36	▲ 0.29	▲ 0.18	▲ 0.11

有効求人数・有効求職者数 前月比伸長率



求人は、ハローワークでの新規募集が
関東・甲信越北陸・東海・四国で主に増加し、
特に関東・四国に積極採用している企業が多い模様。

求職者は、ハローワークへの新規申込件数がどの地域
も増加し、東海で顕著に職探しに活動的な求職者が
増えたと見られる。

雇用形態別 新規求人数・新規求職者数

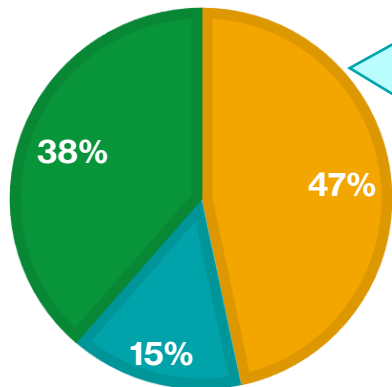
出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

雇用形態別新規求人数 (実数)		合計	正社員	契約社員 など	アルバイト パート
2021年 (令和3年)	10月	857,490	400,199	125,974	331,317
	前月対比率	106.1%	102.8%	105.5%	110.7%
	前年同月比率	108.7%	108.6%	115.3%	106.4%
	前年3月対比率	102.7%	106.8%	104.1%	97.8%

雇用形態別新規求職者数 (実数)		合計	正社員 契約社員	アルバイト パート
2021年 (令和3年)	10月	386,667	246,637	140,030
	前月対比率	105.0%	104.8%	105.2%
	前年同月比率	96.4%	96.1%	97.0%
	前年3月対比率	94.2%	89.3%	104.1%

新規求人数 雇用形態別割合

- 正社員
- 契約社員
など
- アルバイト
パート



構成比前月比で
正社員1%減、AP増

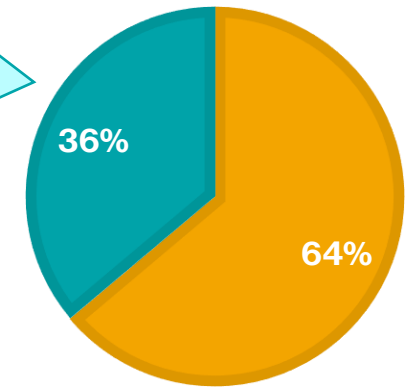
AP募集が宣言前（2020年3月）に戻りつつある。AP募集が急増、正社員募集も引き続き増加傾向。

構成比前月比変化なし

宣言前、前年同月より新規求職者が少ないのは、会社都合・自己都合による完全失業者が減少していることも関連。AP求職が宣言前より増加。

新規求職者数 雇用形態別割合

- 正社員
- 契約社員
- アルバイト
パート



産業別・事業所規模別 新規求人数

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

産業別（実数）	2021年（令和3年）			
	10月	前月比率	前年同月比率	前年3月対比率
合計	857,490	106.1%	108.7%	102.7%
産A, B 農, 林, 漁業	6,791	100.1%	108.9%	110.7%
業C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	411	95.8%	86.9%	92.6%
別D 建設業	82,615	95.0%	102.5%	114.1%
E 製造業	91,871	103.9%	135.9%	128.6%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	788	98.7%	96.8%	87.2%
G 情報通信業	21,405	106.5%	111.1%	99.2%
H 運輸業, 郵便業	52,105	119.1%	108.5%	113.5%
I 卸売業, 小売業	101,935	105.8%	104.1%	89.7%
J 金融業, 保険業	5,257	113.9%	92.0%	102.4%
K 不動産業, 物品賃貸業	15,886	98.9%	115.3%	92.4%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	22,006	102.5%	109.9%	108.2%
M 宿泊業, 飲食サービス業	62,068	122.4%	108.2%	91.4%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	27,235	118.4%	109.3%	91.3%
O 教育, 学習支援業	14,239	103.9%	112.8%	78.8%
P 医療, 福祉	219,965	104.2%	105.3%	104.3%
Q 複合サービス事業	6,111	139.6%	95.0%	138.8%
R サービス業（他に分類されないもの）	113,831	105.5%	110.3%	111.7%
S, T 公務（他に分類されるものを除く）・その他	12,971	111.0%	84.9%	49.1%

事業規模別（実数）	2021年（令和3年）			
	10月	前月比率	前年同月比率	前年3月対比率
合計	857,490	106.1%	108.7%	102.7%
事29人以下	549,546	105.5%	108.7%	103.3%
業30～99人	198,724	106.1%	108.9%	101.4%
所100～299人	74,644	109.2%	108.9%	102.6%
規300～499人	14,923	109.3%	107.4%	99.2%
模500～999人	11,251	120.2%	106.2%	109.8%
別1,000人以上	8,402	99.6%	102.7%	95.3%

＜産業別＞

- ・農林漁業、建設業、製造業、運輸業はコロナ前（2019年12月）を正社員・APで上回る。建設業、製造業の伸びが鈍化。
- ・宿泊・飲食業、生活関連・娯楽業が特に前月比増加。運輸業、飲食業、職業紹介・労働派遣業のAP募集が急増。

＜事業規模別＞

- ・正社員：1,000人未満規模で前月・前年同月を上回る。すべての規模でほとんど宣言前（2020年3月）を上回る。
- ・AP：どれも前月を上回るも、100人～999人規模で宣言前の水準を上回る。

職業別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

	10月	前月比	前年同月比
管理的職業	1.16	▲ 0.03	0.02
専門的・技術的職業	1.79	0.01	0.12
開発技術者	1.54	▲ 0.01	0.12
製造技術者	0.65	0.01	0.16
建築・土木・測量技術者	5.46	0.06	0.29
情報処理・通信技術者	1.38	0.01	0.18
その他の技術者	1.80	▲ 0.01	0.02
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	1.89	▲ 0.02	▲ 0.10
保健師、助産師、看護師	2.11	0.01	0.20
医療技術者	2.96	0.00	0.41
その他の保健医療の職業	1.59	0.03	0.07
社会福祉の専門的職業	3.00	0.04	0.08
美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	0.22	0.00	▲ 0.01
その他の専門的職業	0.78	0.02	0.01
事務的職業	0.37	0.01	0.04
一般事務の職業	0.29	0.00	0.03
会計事務の職業	0.58	▲ 0.01	0.03
生産関連事務の職業	1.56	0.03	0.33
営業・販売関連事務の職業	0.83	0.01	0.21
外勤事務の職業	3.17	0.20	0.21
運輸・郵便事務の職業	2.03	0.08	0.15
事務用機器操作の職業	0.38	0.02	0.01
販売の職業	1.55	0.02	0.13
商品販売の職業	1.51	0.02	0.13
販売類似の職業	1.74	▲ 0.07	0.05
営業の職業	1.61	0.02	0.13

	10月	前月比	前年同月比
サービスの職業	2.51	0.07	0.15
家庭生活支援サービスの職業	3.25	▲ 0.17	▲ 0.19
介護サービスの職業	3.64	0.01	▲ 0.21
保健医療サービスの職業	2.81	0.04	0.15
生活衛生サービスの職業	2.99	0.14	0.16
飲食物調理の職業	2.05	0.12	0.38
接客・給仕の職業	1.95	0.17	0.20
居住施設・ビル等の管理の職業	0.93	▲ 0.03	▲ 0.03
その他のサービスの職業	1.42	0.02	0.11
保安の職業	6.23	▲ 0.10	▲ 0.30
農林漁業の職業	1.37	0.01	0.03
生産工程の職業	1.73	0.04	0.61
生産設備制御・監視の職業（金属）	1.49	0.06	0.81
生産設備制御・監視の職業（金属除く）	2.05	▲ 0.03	0.67
生産設備制御・監視の職業（機械組立）	1.08	0.07	0.65
金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業	2.85	0.07	1.13
製品製造・加工処理の職業（金属除く）	1.86	0.06	0.53
機械組立の職業	0.83	0.03	0.46
機械整備・修理の職業	3.87	0.00	0.32
製品検査の職業（金属）	1.93	0.08	1.09
製品検査の職業（金属除く）	2.26	0.03	0.92
機械検査の職業	1.37	▲ 0.01	0.75
生産関連・生産類似の職業	0.89	0.03	0.17

	10月	前月比	前年同月比
輸送・機械運転の職業	1.82	0.03	0.04
鉄道運転の職業	0.56	▲ 0.04	▲ 0.21
自動車運転の職業	2.05	0.02	0.00
船舶・航空機運転の職業	0.54	0.02	0.18
その他の輸送の職業	0.64	▲ 0.02	0.11
定置・建設機械運転の職業	1.74	0.06	0.07
建設・採掘の職業	5.06	0.19	▲ 0.02
建設躯体工事の職業	8.68	0.69	▲ 0.43
建設の職業	4.07	0.21	▲ 0.05
電気工事の職業	3.31	▲ 0.04	▲ 0.20
土木の職業	6.17	0.26	0.28
採掘の職業	4.43	0.36	▲ 2.20
運搬・清掃・包装等の職業	0.69	0.02	0.07
運搬の職業	1.14	0.02	0.13
清掃の職業	1.53	0.04	0.03
包装の職業	2.47	0.03	0.55
その他の運搬・清掃・包装等の職業	0.29	0.01	0.04
分類不能の職業	0.00	0.00	0.00
介護関係職種（注2）	3.70	0.01	▲ 0.16

（注2）介護関係職種
「福祉施設指導専門員」「その他の社会福祉の専門的職業」、
「家政婦（夫）、家事手伝い」「介護サービスの職業」の合計。

正社員・APともに飲食ホール・調理職、建築土木関連職が求人数の割りに応募者が少ない印象。医療福祉職はコロナ前以上に正社員採用重視。家庭生活支援・介護サービス職はAP採用重視。

労働力調査（2021年10月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

※単位：万人

雇用形態別内訳	男女計	前年同月比	男性	女性	男性 前年同月比	女性 前年同月比
正社員	3566	+ 31	2336	1229	+ 5	+ 25
アルバイト・パート	1452	▲ 56	339	1113	▲ 22	▲ 34
派遣社員	144	+ 9	51	93	▲ 7	+ 16
契約社員	279	+ 6	147	132	+ 8	▲ 2
嘱託	115	+ 1	74	41	▲ 2	+ 3
その他	81	0	44	36	+ 6	▲ 7

前年同月：2020年10月（東京大阪・北海道沖縄などで感染者数増加）
コロナ禍中で雇用形態別・男女別の推移が見られる

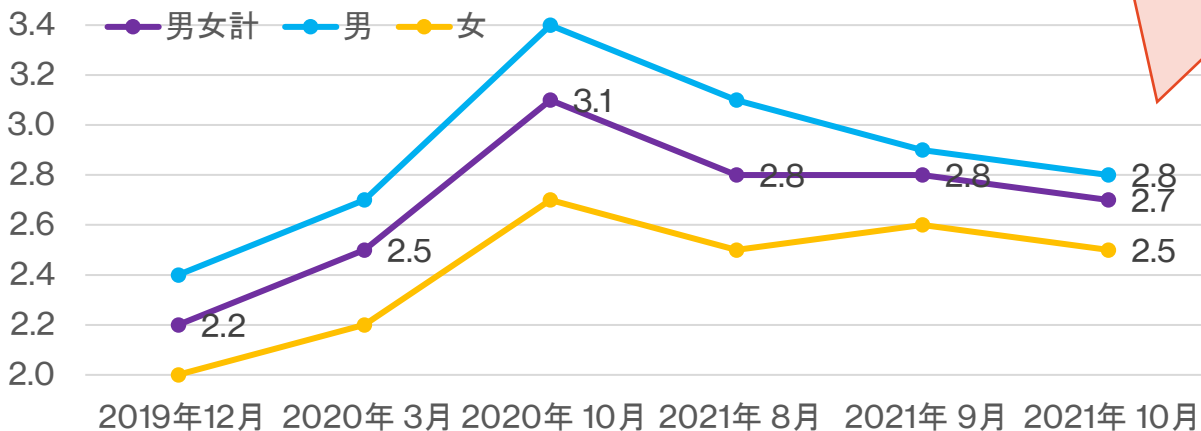
前月比で正社員が男性22万人減・女性8万人増、非正規労働者が男性15万人増・女性2万人減
労働力人口が男性12万人減・女性17万人減、非労働力人口が男性11万人増・女性15万人増

減少し続けていた非労働力人口が2か月連続で男女ともに増加。男性の非正規化、女性の正規化がみられる。

労働力調査（2021年10月）

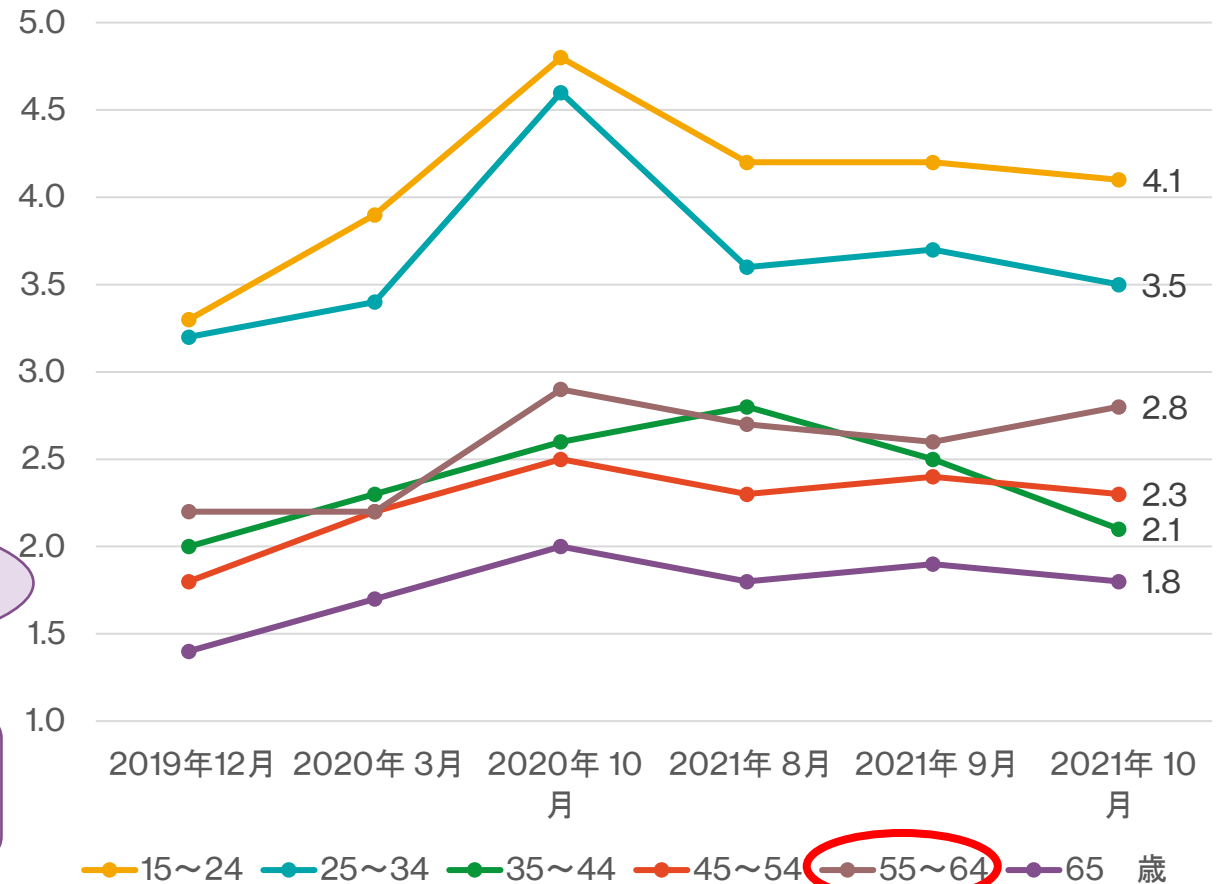
出典：総務省統計局「労働力調査」

完全失業率（%） 季節調整値



前月比変化
男性0.1改善、女性0.1改善

完全失業率（%） 年代別



<完全失業率とは？>

労働力人口のうち調査期間中に下記に当てはまる比率

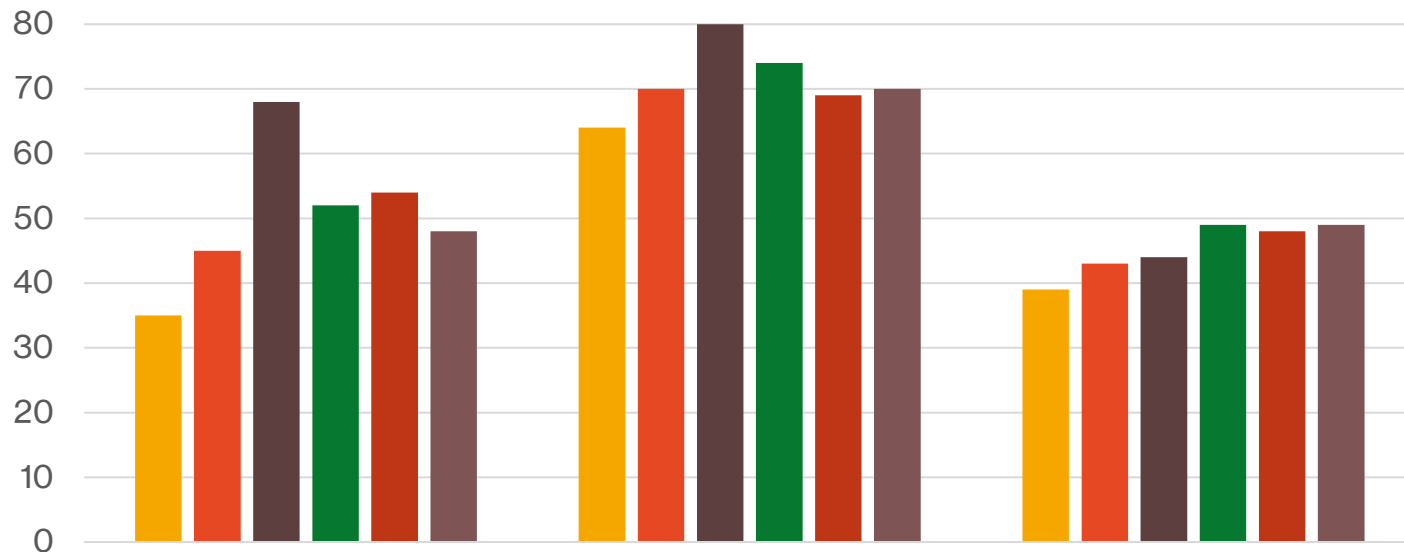
- ・ 仕事がなくして仕事をしなかった
- ・ 仕事があればすぐに就ける
- ・ 求職活動をしていた

失業率改善の一方、非労働力人口増加・35～44歳失業率低下幅から、子育て主婦層が非労働力傾向か。

労働力調査（2021年10月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

完全失業者（万人） 求職理由別



非自発的な離職、自己都合による離職、休んでいたが労働による収入が必要になり新たに求職を始めた人はコロナ前に比べまだ高い水準。非自発的な離職が宣言前（2020年3月）の水準に戻りつつある。

2021年10月は久しぶりに緊急事態宣言が解除になり、新型コロナ感染者数も減少傾向でコロナ前の生活に戻ってきているが、失業者・求職者が持つ飲食業へのマイナスイメージ、飲食業から医療福祉・製造・運送業などの他業界への人材流出により、飲食業の採用競争が激化している。賃金UPや採用条件の緩和だけでは採用・定着問題の根本解決に至らない状況のため、飲食業のマイナスイメージ払拭・付加価値創造が求められる段階に来ている。

- ・非自発的な離職（定年・契約終了など）
- ・勤め先等の都合

■ 2019年12月
■ 2021年8月

- ・学卒未就職
- ・収入の必要発生
- ・その他

■ 2020年3月
■ 2020年10月
■ 2021年9月
■ 2021年10月

考察 ～飲食業で働くメリット・デメリットとは？～

キャリアアップ志向にとって、競争が激しくハードな分、働きがいがある

飲食業は業界内の認識と求職者の意識改革が必要な時期に入っていると見られる。コミュニケーションスキルの習得は求職者にとって大きなメリットになると思われる。

企業の状況と求職者が抱くイメージ

飲食店舗・企業

コロナ禍挽回に向けて正社員・APがすぐに欲しい！
でも採れない・・・

求職者

しんどいんでしょ？しかも
またパンデミックになったら
解雇するんでしょ？

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">★多種多様なお客様と出会える★お客様と直接的に触れ合える★将来的な独立を見据えて組織の全体像を把握することができる★汎用的に必要なコミュニケーションスキルを磨くことができ、どこでも通用する人財を目指せる	<ul style="list-style-type: none">◆基本的に立ち仕事のため肉体的にハード◆変則的な生活スタイル、比較的休みが少ない◆他業種の友人と休みが合わない◆泥酔したお客様の対応が必要なことがある◆対人接触に制限が出た場合に仕事が減ることがある

事例 ～飲食業の付加価値創造事例～

有限会社恵比寿

業務IT化により労働環境改善。飲食業のマイナスイメージを払拭し、働きがいのある職場へ

「飲食業＝ブラック」のイメージを変えたいという強い思いから、労務改善と業務改善を2大重点課題として抜本的改革。

デジタル化による労務・業務改善

- ・ 特に負担になっていた発注・棚卸業務をIT化
インフォマート「BtoB受発注」を導入・簡素化
⇒原価管理の可視化
- ・ 売上一括管理システム導入
⇒勤怠管理システム連携で日次売上と連結管理

空いた時間を使って社内交流・新事業開始

- ・ 弁当宅配事業開始
- ・ テイクアウト事業を検討中
- ・ 地域飲食店合同イベント開催
- ・ 今後の課題は店づくりやメニュー改善
⇒経営層と従業員が近い距離で感想共有・相談
しあう時間を持っている

出典：FOODS CHANNEL～食ビジネスのポータルサイト～

「「飲食業＝ブラック」のイメージから脱却。業務のIT化で労働環境を改善～御厨酒場えびす」の記事を基に作成

<https://www.foods-ch.com/gaishoku/1618466449596/>

All rights reserved © 2021 Northernlights, Inc.